

# 「特定技能者の介護キャリアパス構築に向けた 一気通貫教育プログラム（仮称）」

【プログラム提供】 アジアヒューマンサポートセンター  
【教材プログラム開発・協力】 アスク出版、アリス国際学園、GTN

## ■目的

- ・優良な特定技能介護人材を育成し、国内の介護施設の人材確保をすること。
- ・同外国人材が、介護分野でのキャリアパスを積めるような教育を受けられること。

## ■目標

- ・上記人材の 30%以上を介護福祉士国家試験に合格させること。

---

## フェーズ1:

### 特定技能介護人材候補者への日本語教育実施

#### (6ヵ月程度を想定)

・対象: 日本で介護特定技能人材として就業を希望する外国人(主に海外在住者)

・内容:

① JLPT N4 または、JFT A2 に合格するための日本語能力の育成。

② 日本での日常生活に必要な一般的なコミュニケーション能力の育成。

③ 介護現場で就業する上で必要な最低限のコミュニケーション能力の育成(語彙を含む)。

・教材と利用用途:

① eTRY Start 中の「ひらがな」「かたかな」(無償提供)

・入学条件として、「ひらがな」「かたかな」の読み・書き・発話ができることを最低条件とする。

② JLPT ハーフ模試 N5, N4(参考定価は 500 円/試験/人)

<参考>※

・生徒募集時のスクリーニング用として利用(一定レベルの学習能力を担保したい)。

・入学時、3ヵ月後、6ヵ月後の実力診断データベースとして利用。

③ eTRY Start、N5、N4(参考定価 各 90 日利用で、Start=1,500 円/人、N5=1,500 円/人、N4=1,800 円/人)

・特定技能介護人材として就業するために最低限必要な日常日本語コミュニケーション能力の育成。

④ TCCC デジタル模試 (参考定価は 6,000 円/人)

<参考>※:

・特定技能介護人材として介護就業現場に必要な現況の介護日本語コミュニケーション能力の見える化。

⑤ [いろどり](#) (無料利用)

・JFT A2 対策練習用教材として利用。

⑥ eBOOK「[介護の日本語 1 年生](#)」+「[外国人のためのやさしい介護\(動画付\)](#)」(参考定価は 5,500 円/人)

⑦ 動画「[EMK\(映像で学ぶ介護\)](#)」(参考定価は、xxx円/人)

・⑥⑦共通で、特定技能介護試験向け対策および、入職後の介護施設イメージを得るために利用。

・**教員費用(1教室あたり生徒数は10名程度を想定):**

- ① 日本人教員: 授業xxx円/時間程度(授業時間) + 管理費用一式(月額)xxx円/月

上記プログラムを経て、特定技能介護試験に合格し、内定した候補者には、

## 「内定者入国前オンライン研修プログラム」

### 介護のほんご(全10回)カリキュラム ※オンライン授業は週1回

学習期間:2.5ヶ月  
 オンライン授業総時間数:15時間(※週1回90分)  
 予想自習時間:225時間  
 合計学習時間:240時間  
 習得語彙数:653語(※うち220語は漢字書き取り含め習得)

授業料(全10回):22,000円(税込)

※使用テキスト:特定技能介護テキスト ※使用テキスト:特定技能介護テキストほか

回数	時間	介護	会話		宿題	アリス学園動画 自学
		介護カリキュラム	会話カリキュラム	介護現場の会話		
1	90分	介護の仕事	初日の挨拶	仕事初日	毎回3技能を使う 課題を出します	
2	90分	介護職の役割 コミュニケーション	介護のコミュニケーション	身の回りの介助		
3	90分	心と体 老化①	身支度	身支度、脱着		
4	90分	老化②	ビジネスマナー	誤飲		
5	90分	移動	移動・移乗	車いす移動、杖歩行		
6	90分	食事	食事	食事、口腔ケア		
7	90分	排泄	排泄	排泄、おむつ交換		
8	90分	入浴	入浴	入浴、清拭		
9	90分	認知症	認知症	帰宅願望、妄想		
10	90分	記録 全体のまとめ、復習テスト	報告の会話			

---

## フェーズ2: 入職後の日本語教育フォロー

・対象: 介護特定技能人材として入職した外国人人材

・内容:

- ① 介護施設内で、上司や同僚との職業上必要な介護日本語コミュニケーション能力の育成。
- ② 入居者様とのコミュニケーションに必要な日本語能力のブラッシュアップ。
- ③ 初任者研修、実務者研修に向けた準備教育。

・教材と利用用途:

- ① TCCC デジタル模試 (参考定価は 6,000 円/人)
- ② 上記結果を踏まえ、レベル別の Online 研修の実施(1 クラス 10 名程度、全国各地の人材が同時受講)(講師費用定価: 10,000 円/時間)

### 【自主学習支援】

- ③ 初任者研修・実務者に向けた準備教育

---

## フェーズ3: 実務者研修から介護福祉士国家試験合格へ

・対象: 本プログラムで介護施設で就業し、然るべき資質ありと認められた人材

・内容:

- ①実務者研修の対策、実施
- ②介護福祉士国家試験対策の実施

・教材と利用用途:

- ①N3 レベルからつかえる実務者研修用書籍(仮)
- ②介護福祉士国家試験過去問を用いたデジタル模試

---

### ■ゴールイメージ

・本プログラム参加人材から 30%くらいの介護福祉士国家試験合格者を輩出し続け、それら人材が日本国内の上位の介護人材としてキャリアアップしていく(家族も帯同して日本で豊かな生活ができる)。

※<参考> 帯同家族向けの JSL(外国人子弟向け日本語教育)も提供可能